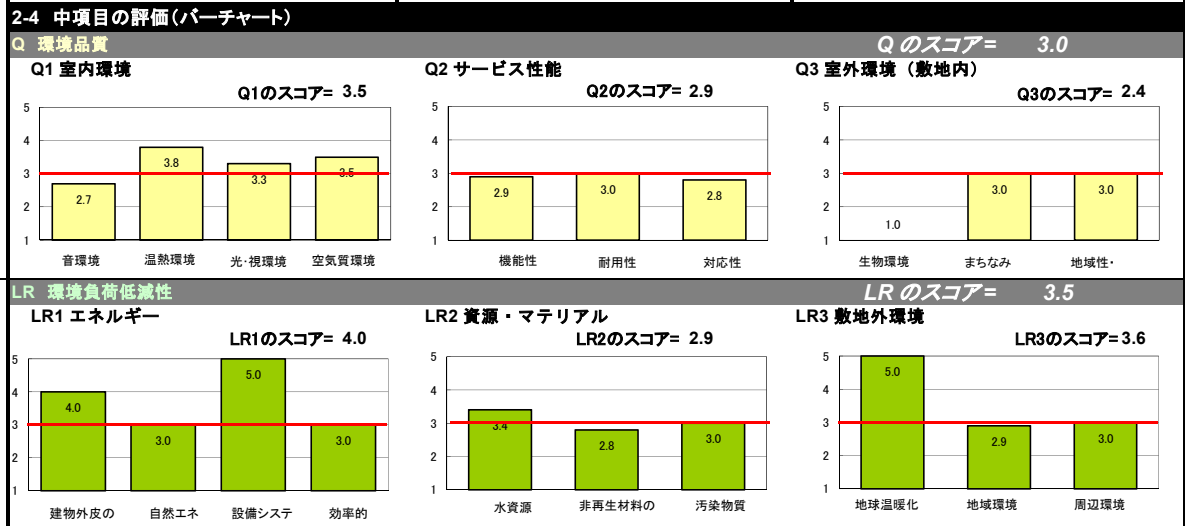
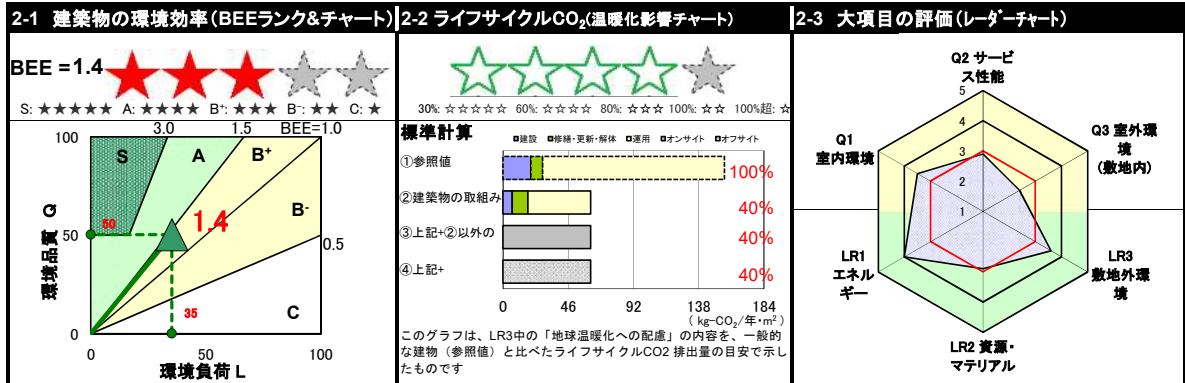


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)リコト八帖北町	階数	地上15階
建設地	愛知県岡崎市八帖北町3-19 他8筆	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	294人
気候区分	6地域	年間使用時間	17,640時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2021年6月 予定	評価の実施日	2020年1月20日
敷地面積	3,665 m ²	作成者	嶺澤 健二
建築面積	499 m ²	確認日	2020年1月27日
延床面積	6,252 m ²	確認者	成瀬 徳行



3 重点項目	
<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">5.0</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">2.8</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

④地域材の活用

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

スコアシート		実施設計段階		独自基準		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質												
Q1 室内環境												
1 音環境												
1.1 室内騒音レベル												
		0.4	2.0	0.15	2.8	2.8	1.00					3.0
1.2 遮音												
		3.0	3.0	0.50		3.0	0.50					3.5
		0.5	1.0	0.50		2.7	0.50					
	1		1.0	1.00		3.0	0.30					
	2		1.0	-		2.0	0.30					
	3		3.0	-		4.0	0.20					
	4		3.0	-		2.0	0.20					
1.3 吸音												
			1.0	-		1.0	-					
2 温熱環境												
2.1 室温制御												
		0.3	3.0	0.35	4.0	4.0	1.00					3.8
	1	1.0	3.0	1.00	4.0	4.0	1.00					
	2	3.0	-	-		-	-					
	3	3.0	3.0	1.00		4.0	1.00					
	3	3.0	-	-		-	-					
2.2 湿度制御												
		3.0	-	-		-	-					
2.3 空調方式												
		3.0	-	-		-	-					
3 光・視環境												
3.1 屋光利用												
		0.2	3.0	0.25	3.4	3.4	1.00					3.3
	1	0.4	3.0	0.43	3.5	3.5	0.30					
	2	3.0	-	-		4.0	0.50					
	3	3.0	3.0	1.00		3.0	0.30					
	3	3.0	3.0	1.00		3.0	0.20					
3.2 グレア対策												
	1		-	-	4.0	4.0	0.30					
	1	5.0	-	-		4.0	1.00					
3.3 照度												
		3.0	3.0	0.21		3.0	0.15					
3.4 照明制御												
		3.0	3.0	0.36		3.0	0.25					
4 空気質環境												
4.1 発生源対策												
		0.2	3.0	0.25	3.6	3.6	1.00					3.5
	1	0.6	3.0	0.60	4.0	4.0	0.63					
4.2 換気												
		3.0	3.0	1.00		4.0	1.00					
		0.4	3.0	0.40	3.0	3.0	0.38					
	1	3.0	3.0	0.50		3.0	0.33					
	2	3.0	3.0	-		3.0	0.33					
	3	3.0	3.0	0.50		3.0	0.33					
4.3 運用管理												
	1	-	-	-		-	-					
	1	3.0	3.0	-		-	-					
	2	3.0	3.0	-		-	-					
Q2 サービス性能												
1 機能性												
1.1 機能性・使いやすさ												
		0.4	2.8	0.40	3.0	3.0	1.00					2.9
	1	0.4	3.0	0.40	3.0	3.0	0.60					
	2	3.0	-	-		-	-					
	3	3.0	3.0	1.00		3.0	1.00					
	3	3.0	3.0	1.00		3.0	0.50					
1.2 心理性・快適性												
		0.3	3.0	0.30	3.0	3.0	0.40					
	1	3.0	-	-		3.0	0.50					
	2	3.0	-	-		-	-					
	3	3.0	3.0	1.00		3.0	0.50					
1.3 維持管理												
		0.3	2.5	0.30		-	-					
	1	3.0	3.0	0.50		-	-					
	2	3.0	2.0	0.50		-	-					
2 耐用性・信頼性												
2.1 耐震・免震・制震・制振												
		0.3	3.0	0.31		-	-					3.0
	1	0.4	3.0	0.48		-	-					
	2	3.0	3.0	0.80		-	-					
	2	3.0	3.0	0.20		-	-					
2.2 部品・部材の耐用年数												
		0.3	3.4	0.33		-	-					
	1	-	5.0	0.23		-	-					
	2	-	4.0	0.23		-	-					
	3	-	3.0	0.09		-	-					
	4	-	3.0	0.08		-	-					
	5	-	3.0	0.15		-	-					
	6	-	2.0	0.23		-	-					
2.4 信頼性												
		0.1	2.6	0.19		-	-					
	1	3.0	3.0	0.20		-	-					
	2	3.0	3.0	0.20		-	-					
	3	3.0	1.0	0.20		-	-					
	4	3.0	3.0	0.20		-	-					
	5	3.0	3.0	0.20		-	-					

3 対応性・更新性				0.2	3.0	0.29	2.8	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり				-	-	-	2.6	2.6	0.50	
1 階高のゆとり				-	2.0	-		3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ				3.0	3.0	-		2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	3.0	-		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				1.0	3.0	1.00			-	
1 空調配管の更新性		②		-	3.0	0.17			-	
2 給排水管の更新性				3.0	3.0	0.17			-	
3 電気配線の更新性				3.0	3.0	0.11			-	
4 通信配線の更新性				3.0	3.0	0.11			-	
5 設備機器の更新性				3.0	3.0	0.22			-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	3.0	0.22			-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	-	0.30			-	2.4
1 生物環境の保全と創出		独自③		-	1.0	0.30			-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		-	3.0	0.40			-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	3.0	0.30			-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		-	3.0	0.50			-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上				-	3.0	0.50			-	-
LR 建築物の環境負荷低減性										3.5
LR1 エネルギー						0.40				4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			外皮平均熱貫流率(UA値)0.87以下	3.0	4.0	0.33			-	4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	3.0	0.17			-	3.0
3 設備システムの高効率化			住宅性能評価の断熱等級4	3.0	5.0	0.33			-	5.0
4 効率的運用				0.1	3.0	0.17			-	3.0
集合住宅以外の評価				-	-	-			-	-
4.1 モニタリング				3.0					-	-
4.2 運用管理体制				3.0					-	-
集合住宅の評価				1.0	3.0	1.00			-	-
4.1 モニタリング				-	3.0	0.50			-	-
4.2 運用管理体制				-	3.0	0.50			-	-
LR2 資源・マテリアル						0.30				2.9
1 水資源保護				0.1	3.4	0.15			-	3.4
1.1 節水			節水型便器・節湯機器等使用	3.0	4.0	0.40			-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60			-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	3.0	1.00			-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	3.0	-			-	-
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	2.8	0.63			-	2.8
2.1 材料使用量の削減				-	2.0	0.07			-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	3.0	0.24			-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②		-	3.0	0.20			-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	アスファルトに再生砕石材を使用	3.0	3.0	0.20			-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	2.0	0.05			-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自		3.0	3.0	0.24			-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.0	0.22			-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	3.0	0.32			-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.0	0.68			-	-
1 消火剤				-	-	-			-	-
2 発泡剤(断熱材等)				-	3.0	0.50			-	-
3 冷媒				3.0	3.0	0.50			-	-
LR3 敷地外環境						0.30				3.6
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2排出量 概算40%	-	5.0	0.33			-	5.0
2 地域環境への配慮				0.3	2.9	0.33			-	2.9
2.1 大気汚染防止				-	3.0	0.25			-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				-	3.0	0.50			-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	2.7	0.25			-	-
1 雨水排水負荷低減		独自		-	3.0	0.25			-	-
2 汚水処理負荷抑制				-	3.0	0.25			-	-
3 交通負荷抑制		独自	駐車場、駐輪場等、適切なスペース・導入路の確保。	-	4.0	0.25			-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				-	1.0	0.25			-	-
3 周辺環境への配慮				0.3	3.0	0.33			-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40			-	-
1 騒音		独自		-	3.0	1.00			-	-
2 振動		独自		-	-	-			-	-
3 悪臭				-	-	-			-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	3.0	0.40			-	-
1 風害の抑制				-	3.0	0.70			-	-
2 砂塵の抑制				-	1.0	-			-	-
3 日照障害の抑制				-	3.0	0.30			-	-
3.3 光害の抑制				0.2	3.0	0.20			-	-
1 屋外照明及び室内照明のうち外に漏れる光への対策				-	3.0	0.70			-	-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				-	3.0	0.30			-	-

重点項目スコアシート

(仮称)リコット八帖北町

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				5.0
LR3-1	地球温暖化への配慮	5.0	0.10	
② 資源の有効活用				2.8
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.8	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

計画上の配慮事項	
総合	岡崎の中心地康生地区に隣接、国道1号線と国道248号線が交差する地域にあり、名鉄岡崎公園前、愛知環状線の中岡崎駅へは徒歩圏内にあり、交通の便も良い。保育園、小中学校も近く、子育て環境にも最適。老若男女が過ごしやすい空間を目指し、1階にはラウンジやライブラリー・スタディールームを設け、屋上は花火大会時スカイテラスとして開放、住民同士が集える場所を設けた。
Q1 室内環境	床スラブは、約250mm～275mmの厚みを確保し、階下への衝撃音の伝わりを軽減。また、中空スラブを採用。強度を落とさずにスラブ自重を軽減、天井に小梁のない広い空間が確保できる。 Lr-45の床材を使用、サッシは遮音等級T-1を使用し、遮音に配慮。 省エネ法 外皮の平均貫流率(UA値)0.87以下、省エネ等級4の断熱仕様とした。
Q2 サービス性能	インターネットの集合一括契約、地上波デジタル放送、BS・CSアンテナから受信する電波(4K・8K対応)の混合配信等情報通信設備の充実。 しっかりしたコンセプトによる内装計画。 耐用年数25～60年の外装素材を使用。
Q3 室外環境(敷地内)	敷地は広いが、まとまった空間がとりにくい敷地の中で、採光がとれる様建物を南向きとし、駐車場を確保。機械式駐車場もなるべく低く低く2段までとした。台数に考慮しつつなるべく緑地も設ける様配置。 建物内に車路とアプローチを設け、日影を取りやすくした。
LR1 エネルギー	外皮の熱貫流率0.87を各住戸クリアし、省エネ等級4の断熱仕様とした。共用部、外構の照明はLEDを使用し、消費エネルギーの低減に配慮。
LR2 資源・マテリアル	高圧一括受電サービスを行い、建物内電気室の高圧受変電装置より電力供給することにより電気料金の削減。 節水型トイレや、節湯・節水型水栓を使用、エコジョーズの採用により、水量・ガス量も削減。エコ設備の充実。 接着剤の化学物質排出はないものとする。
LR3 敷地外環境	夏季の卓越風の妨げにならないよう隣地との間隔をあげ、なるべく見付面積が小さくなるようにした。 敷地への進入路を2ヶ所設け、渋滞発生への緩和を考慮。 また、敷地内へ個別のゴミ分別収集所を設け、周辺環境へ配慮した。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。